

《課題名》

国民健康・栄養調査データを用いた過去 20 年間の生活習慣等の推移

《研究対象者》

1995 年から 2016 年までに国民健康・栄養調査（2002 年までは国民栄養調査）および循環器疾患基礎調査（2000 年まで実施）に参加された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の厚生労働省で既に保有している情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：国民健康・栄養調査データを用いた過去 20 年間の生活習慣等の推移

研究期間：承認日（2019 年 2 月 19 日）～2021 年 5 月

研究機関・実施責任者：滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦克之

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

【背景】

循環器疾患など生活習慣病の予防対策を行うためには、地域的な偏のない、国民を代表する集団の研究が必要であり、病気のリスクとなる要因（食べ過ぎ、運動不足、喫煙等）と生活習慣病との関係を分析することが重要です。また、国民の生活習慣や病気のリスクとなる要因は時代とともに変化しており、地域や世代間の格差が生まれると考えられます。生活習慣病の予防のためには、生活習慣病のリスクとなる要因の変化や地域差を明らかにし、最新の対策すべき問題を明らかにする必要があります。厚生労働省の調査である、国民健康・栄養調査（国民栄養調査）や循環器疾患基礎調査は、日本の国民を代表する集団の大規模な調査であり、この調査の結果を用いることで、食生活や運動習慣などの生活習慣や生活習慣病の割合などの経時的な変化や地域格差等を明らかにすることができます。

【目的】

過去 20 年間の国民健康・栄養調査（国民栄養調査）および循環器疾患基礎調査の結果を用いた分析を行い、国民の生活習慣病のリスクとなる要因の変化、そして地域格差の実態とその要因を明らかにし、生活習慣病を予防するための最新かつ優先的な課題を明らかにすることです。

【意義】

全国の国民の皆さまを対象とした調査結果の分析により、我が国の生活習慣病の予防や対策への重要な提言が可能となります。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

この研究は、厚生労働省の調査である国民健康・栄養調査（国民栄養調査）および循環器疾患基礎調査の結果を用いて、食生活や喫煙習慣、生活習慣病の割合などの1995年～2016年までの推移を分析します。また、食生活や運動習慣が生活習慣病の割合の変化にどのような影響を与えるのか分析を行います。具体的な方法は以下の通りです。

① 厚生労働省へデータ(*)の使用申請を行う。

*1995年から2016年の国民健康・栄養調査(2002年までは国民栄養調査)および循環器基礎疾患調査(2000年まで実施)のデータ

② 分析するためのデータベースを構築する。

【使用する項目】

栄養素・食品群別摂取量、生活習慣（喫煙、飲酒、歩数及び運動習慣）、身体計測値（BMI、腹囲、血圧）、血液検査結果（総コレステロール、HbA1c）、高血圧、糖尿病、脂質異常症の有病率、治療率、管理率等

③ 食生活、生活習慣（喫煙、飲酒、運動等）、体格、血液検査結果（総コレステロール、HbA1cなど）、生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症）の割合などについて過去20年間（1995～2016年）の変化を分析する。

なお、本研究は多施設で共同して行う研究です。共同研究機関は以下の通りです。

【共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名】

- | | | |
|------------------------------------|-------|------|
| 1. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター | センター長 | 西 信雄 |
| 2. 大阪市立大学大学院生活科学研究科生活科学専攻 | 教授 | 由田克士 |
| 3. 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 | 教授 | 岡村智教 |
| 4. 浜松医科大学健康社会医学講座 | 教授 | 尾島俊之 |

【提供する試料や情報等の項目】（1. および 2. 以外の施設のみ）

共同利用する個人情報等の項目：性別、年齢、都道府県、世帯人員数、地域ブロック、身長、体重、病歴など（他の項目は（3）②【使用する項目】に記載の通り）

【提供の方法】（1. および 2. 以外の施設のみ）

この研究では分析作業を同時並行して行うため、利用場所を複数とします。情報は、CD-Rに保存し、郵送にて共同研究機関に提供します。その際、配布するデータの内容が記載されたデータの受領書・誓約書に署名をいただき、保管いたします。共同研究機関におけるデータの保管は、各機関の研究責任者が行います。

【試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称】

滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦克之

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

本研究では、個人を同定できる情報は使用しません。

《他の研究機関へ提供する場合》

匿名化が必要となる情報は提供しないため、個人が識別される可能性はありません。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

この研究の対象となる方は、希望される場合、他の対象者の方の個人情報や知的財産の保護に支障がない等の範囲内で、研究に関する計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

本研究では、個人を特定できる情報を用いないため、情報利用の停止はできません。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦克之（担当：大原 操）

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2191

メールアドレス：misabn@belle.shiga-med.ac.jp